

(様式4)

平成 29 年度 学術・学会に関する委員会事業報告

1. 活動テーマ

日本公衆衛生看護学会学術集会への企画委員及び実行委員としての参画と全国保健師長会の企画提案（ワークショップ実施）。

＜ワークショップテーマ＞

全国保健師長会特別企画（第3回）

「地域に責任を持つ保健師活動～地域に責任を持てる「人づくり」～」

2. 目的

地域保健で働く保健師が調査研究やまとめを報告する場所を確保し、公衆衛生看護の専門職として自己研鑽や資質向上を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	H29.7.8（土）	新大阪丸ビル別館	◆第1回委員会開催 ・委員会の活動経過、28年度活動状況及び引き継ぎ事項について ・委員会活動の具体化及びスケジュールの検討 ・第6回日本公衆衛生看護学会学術集会での全国保健師長会ワークショップの企画検討
2	H29.9.2（土）	新大阪丸ビル本館	◆第2回委員会開催 ・第6回日本公衆衛生看護学会学術集会での全国保健師長会ワークショップの検討
3	H28.12.2（土）	新大阪丸ビル本館	◆第3回委員会 ・ワークショップの運営、役割分担について ・第6回日本公衆衛生看護学会学術集会の進行状況について
4	H29.12.17(日)	大阪国際会議場	◆第6回日本公衆衛生看護学会学術集会企画委員会に出席
5	H30.1.6（土）	大阪国際会議場	【ワークショップの実施・運営】 ◆第4回委員会 ・ワークショップの最終打合せ ・ワークショップの運営 ・学術集会実行委員としての活動
6	H30.1.7（日）	大阪国際会議場	◆第5回委員会 ・ワークショップのまとめ ・委員会活動のまとめ

・上記のほか、随時メール等での協議を実施

4. 結果・課題

平成28年度に引き続き、「第6回日本公衆衛生看護学会学術集会」でワークショップを実施した。テーマを「地域に責任を持つ保健師活動～地域に責任を持てる「人づくり」～」として実施し、135人の参加があった。

「地域に責任を持つ」ということ、すなわち「地域をみているか、つなごうとしているか、

動かそうとしているか」が重要なポイントであり、そのような視点や意識を持った保健師を育てるためにはどうしたらよいか。保健師の成長過程の中で、個別課題から地域課題に気づき全体的な活動を展開する能力の獲得を期待する中堅期の人材育成に焦点をあてて、事例を提供いただき、参加者とともに「地域に責任を持てる人づくり」とリーダーの役割の役割について考えた。

アンケート結果から、ワークショップを通し、参加者が自分の自治体の人材育成について振り返りきっかけとなったことがうかがえた。

5. 委員

- 中 由美 大阪府泉佐野保健所
- 有馬 和代 大阪市東住吉区保健福祉センター
- 田平 昌代 泉佐野市健康福祉部健康推進課
- 辻下 淳子 山口県山口健康福祉センター
- 河上屋 里美 萩市保健福祉部健康増進課